

上芳養公民館報12月号

発行：上芳養公民館

館長：井本和男

電話：37-0001

主事：大倉聖秀

FAX：37-0943



ファミリーバドミントン大会の開催

下記の通り、ファミリーバドミントン大会を開催致します。皆様、奮ってご参加下さい。

日時：平成24年1月20日(金)

午後7時から

場所：上芳養中学校体育館

参加資格：上芳養在住者、もしくは職場を有する者

チーム編成：3名で1チーム(補欠は1名まで)

男女別・大人子どものクラス分けはありません。

表彰：1～3位に賞品。参加賞有り

締切：平成24年1月13日(金)までに

申込先：上芳養公民館 電話：37-0001 FAX37-0943



焦がし絵体験教室の参加募集

学社融合事業の一環として『焦がし絵体験教室』を開催いたします。

焦がし絵とは、電熱ペンを使い、ハガキぐらいの大きさの木を焦がしながら、絵を描いていくものです。お友達と一緒に参加してみませんか。

日時：12月26日(月) 午前9時から正午まで(予定)

場所：上芳養小学校図工室

対象：上芳養小学校(4, 5, 6年生)

講師：井本和男(上芳養公民館長)

定員：先着20名

費用：無料

締切：12月19日(月)まで

申込先：上芳養公民館 電話：37-0001 FAX37-0943



第31回 卓球大会の結果

11月17日(木)に開催された卓球大会の結果は下記の通りです。皆様お疲れ様でした。また来年に向けて頑張りましょう！

A級リーグ(敬称略)

優勝：リンス・イン・シャンブー(中学校)

(東光 翔馬、上中 悠生)

準優勝：東郷D

3位：小学校C、3(中学校)

B級リーグ(敬称略)

優勝：中学校Z(竹本 智、井谷 鼓)

準優勝：東郷A



参加チーム数：30チーム(64名)

日向3、東郷8、西郷2、古屋谷

3、小恒1、石神2、小学校6、

中学校5

平成23年度田辺市まちづくり市民カレッジ

第4回講座 『原発と新エネルギー』

日時：12月11日(日) 午後1時～午後4時30分

場所：ひがしコミュニティセンター「大集会室」

講義：「福島原発事故と放射能汚染」

(元京都大学原子炉実験所助教授 海老澤 徹氏)

「これからのエネルギー社会の姿：自然エネルギーと地域づくり」

(和歌山大学経済学部教授 中村 太和氏)

お申し込み：不要。直接会場までお越し下さい。

主催：田辺市教育委員会

お問い合わせ：田辺市教育委員会 生涯学習課(電話：26-4908)

大盛況に終わる芳養しおさい祭り

去る10月29日(土)新芳養湾漁港で芳養しおさい祭りが開催されました。今回で第8回目を迎えるこのお祭りも、市内外から多くの来場者が訪れ、回を重ねる度に大きな賑わいになっています。

今回、新鮮な魚産物や農産物を積んだ軽トラック市には、24店舗の出店があり、朝早くから訪れたお客さんが買い物を楽しんでいました。また軽トラック市以外にも、明洋中学校のプラスバンド部の演奏や、芳養湾漁船クルーズなどがあり、来場したお客さんは思い思いの時間を楽しんでいました。



ころころ山だより

クリスマスが近づくと、本屋さんに素敵なクリスマス絵本が並ぶので、つい手にとりプレゼントしたくなります。

私は、出産祝いにも“赤ちゃん絵本”を贈ることが多く、つい先日もプレゼントしました。すると、その方から、「ありがとう！今、こういうの(本)絶対必要なんですよね。どれがいいかわからなかったから、本当に嬉しかったです。」と嬉しいお礼の電話をいただきました。今まで同じようにプレゼントしても、「赤ちゃんには、いつ頃から読んであげられるの？」とよく聞かれたものです。

ここ数年の読書推進の毎日の中で、親になる人の本に対する意識も変わってきているのかなと感じました。

“赤ちゃんがおすわりできるようになったら、ひざにのせてブックスタート！”

親の声とともに暖かい愛情がしっかり子どもに伝わることと思います(^_^)v

参考までに、私のプレゼントの定番本は、松谷みよ子さんの「いないいないばあ」「おふろでちゃぶちゃぶ」「おさじさん」「のせてのせて」や「かみさまからのおくりもの」(こぐま社)などです。

ころころ山サークル代表：山本

上芳養中学校よりお知らせ

下記の講演会を開催致しますので、皆様お誘いあわせの上、ご来場下さい。



日 時：12月7日(水) 13時30分～(60分程度)

場 所：上芳養中学校

講 師：小西 博之さん

内 容：2005年に腎臓がんの宣告を受け、芸能活動を続けている自分の人生にも触れながら、「命の大切さ」について語って頂きます。

お問い合わせ：上芳養中学校(電話37-0214)

農村センターよりお知らせ

11月より、農村センターの外壁の工事をしています。玄関口にも、工事のための足場を組んでおり、駐車場に自動車を入れるようになってきました。そのため、自動車でお越しの際は、出来る限りグラウンド側に駐車されるようお願い致します。



年末にかけて、古紙ボックスへの搬入が増えてきます。古紙等を持ち込む際は、必ず紙紐でくくって出して下さい。



上芳養婦人会役員研修旅行便り ~ 広島へ行く ~



(原爆ドーム前)



(平和記念資料館内 研修の様子)

11/10(木) 早朝、1泊2日の研修旅行へと30名が上芳養を出発した。

バスは高速道路をひた走り、今回の研修地、広島を目指す。休憩のSAでも、産地直売の農産物を目にすると「アケビ 売りやら。ぎんなんも。」「新しい品種の梨やぶどう、あらよお。」「このパブリカ安いなあ」と生産者であり、家計をあずかる主婦の目でチェックをする。

整備された高速道路網の恩恵にあやかり、世界遺産である「ヒロシマ」では充実した研修が可能になった。原爆ドームの保存は、1966年に高まる市民の声に押されて広島市議会で可決され実現。一同、原子爆弾の威力を目の当たりにし、あらためて驚く。「百聞は一見にしかず」

バスの中にて全員が恒久平和への祈りを込めて折った鶴を「原爆の子の像」に捧げる。

平和記念資料館では、**学術機関のみならず、市民の手によって**戦後早い時期から集められた被爆資料の数々を見学し、東日本大震災による、福島原発の事故をうけ放射線が人体に及ぼす影響などを真剣に学ぶ。平和の尊さや、放射線の怖さ。また、その地方独自の歴史、文化、自然が農産物やその土地ならではの名産品をうみ、産業振興や観光による地域経済の活性化をもたらしていることを再認識する研修となった。

(婦人会副会長：松場 三恵子)

「婦人会役員研修旅行に参加して」 日向支部支部長 松下純子

ようやく念願が叶い、「ヒロシマ」を訪れることができ、一番心に残ったのは原爆ドームと平和記念資料館でした。ドームと、その周りに散乱する瓦礫を目の当たりにした時には何とも言いようのない、ここに来なければ味わえない感覚になりました。

平和記念資料館では外国人の姿も多く、館内では誰一人話す人もなく、写真や資料、遺品の数々に目を奪われていました。そして、2歳で被爆し、10年後白血病と診断され8カ月後にはその短い生涯を終えてしまった佐々木禎子さんが、病気の回復を祈りながら病床で折り続けた小さな折り鶴を見た時には胸がしめつけられる思いでした。

私はこの研修旅行に参加させていただいた事、今生かされていることに感謝し、まだ一度も広島を訪れたことのない娘と共に、近い将来また訪れたいと思いました。自然災害にしる、戦禍にしる、生きてくても生きられなかった、将来の夢も希望も一瞬にして打ち砕かれた多くの尊い命と平和への願いを忘れないために。

書籍紹介 「おりづるの旅さだこの祈りをのせて」PHPにこここえほん

「まっ黒なおべんとう」

新日本出版